

第6次高千穂町総合長期後期計画 副読本

TAKACHIHO

たかちほの「これから」を描く本。

MIRAI

NOTE

たかちほの「これから」を描く本。

TAKACHIHO
MIRAI
NOTE

計画の本編は高千穂町ホームページよりご確認ください。

たかちほの未来って

どんなかたち？

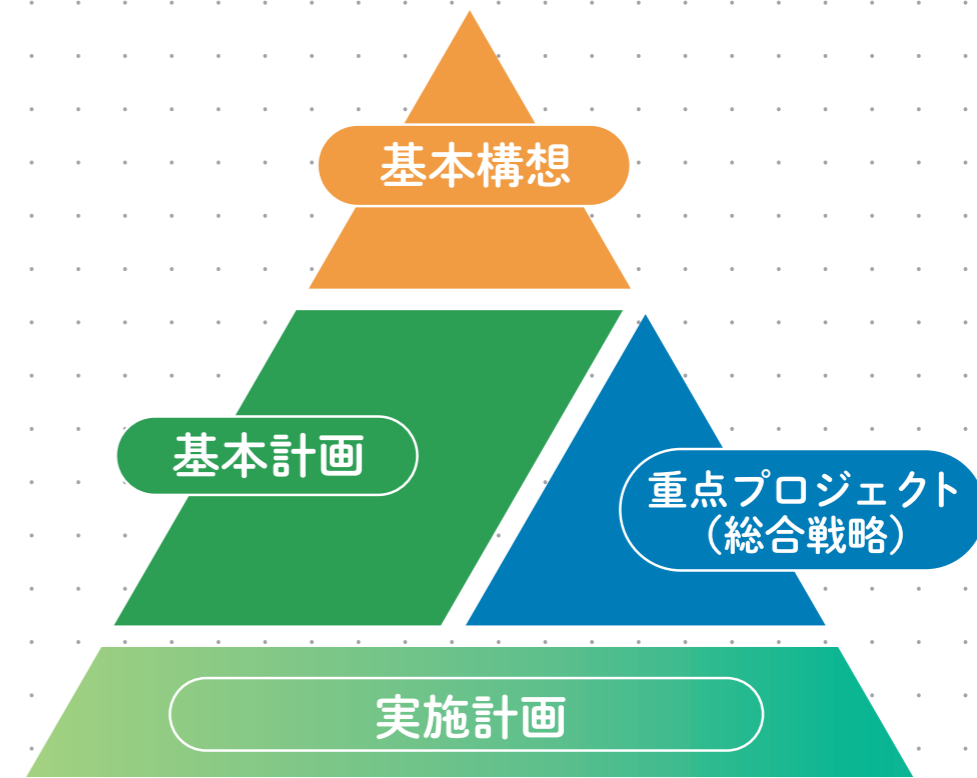


そうごうけいかく 総合計画ってなに？

総合計画は、かんたんに言うと、
“まちの未来の設計図”。

高千穂町では、
これからの5年、10年、20年をどうしていきたいか、
どんなまちにしたいかを、
住民・役場・いろんな団体がいっしょに考えて、
計画にまとめています。

その中には、町の将来像、
実際に動いていくための作戦、
そして課題に向き合う
アイデアなどが盛り込まれています。



令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)	令和11年度 (2029)	令和12年度 (2030)
基本構想									
第6次高千穂町総合長期計画 前期計画					第6次高千穂町総合長期計画 後期計画				
第2期高千穂町まち・ひと・しごと創生総合戦略						第3期高千穂町まち・ひと・しごと創生総合戦略			
高千穂町過疎地域持続的発展計画						高千穂町過疎地域持続的発展計画			

甲斐町長に聞く 「これからの高千穂」

町長に話を
きいてみた！



高千穂町長
かい むねゆき
甲斐 宗之

高千穂の“これから”をどう考えているの？
今回の総合計画づくりでは、はじめに高千穂町長・甲斐宗之さんへ、町の未来をどう描いているのか、お話を伺いました。

策定の流れ

STEP1

大事にしたい
考え方
をまとめる

これからの高千穂をつくるうえで、何より大切なのは、若い人たちがこの町に愛着を持ち、安心して働き、また帰ってきたいと思える場所にしていくことです。観光業を学ぶ高校の取り組みも始まり、地元就職も増えてきており、この流れをしっかりと支えていきたいと考えています。

STEP2

町が抱える
課題
を探す

一方で、宿泊や飲食など観光インフラの不足は大きな課題です。町の魅力を活かしながら、観光によって収益を上げる仕組み、たとえば駐車場の有料化やふるさと納税の見直しも検討しています。

また、図書館や体育館の建て替え、中心市街地のにぎわいづくりなど、取り組むべき課題も山積しています。“歩いて楽しめるまち”を目指すうえで、空き店舗や住居兼店舗の活用といった工夫も重要です。

STEP3

これからの
挑戦
を共有する

さらに、働き手の確保は喫緊の課題で、農業や建設業の担い手、企業誘致、産業マッチングなど、町としての支援も進めていきます。

今後は「町の中と外が力を合わせること」がますます大事になります。棚田オーナー制度や大学生インターンの受け入れなど、町外の方とのつながりが少しずつ広がってきました。こうした関わりをまちづくりの力にしていきたいと思っています。

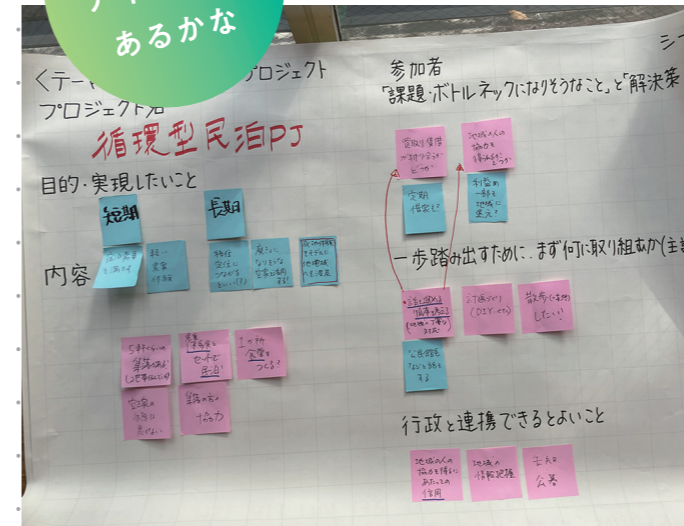
STEP4

未来への
期待
を描く

そして何より、高千穂の自然や神話文化という“宝”を守りながら、観光客も町民も歩いて楽しめるにぎわいある未来を、みなさんと一緒につかっていきたい。医療や防災の体制を整え、多様な人が活躍できる環境をつくりながら、「高千穂の良さを未来へつなぐ」ことが、私の願いです。

いろんな人の意見をもとに
総合計画はできています！

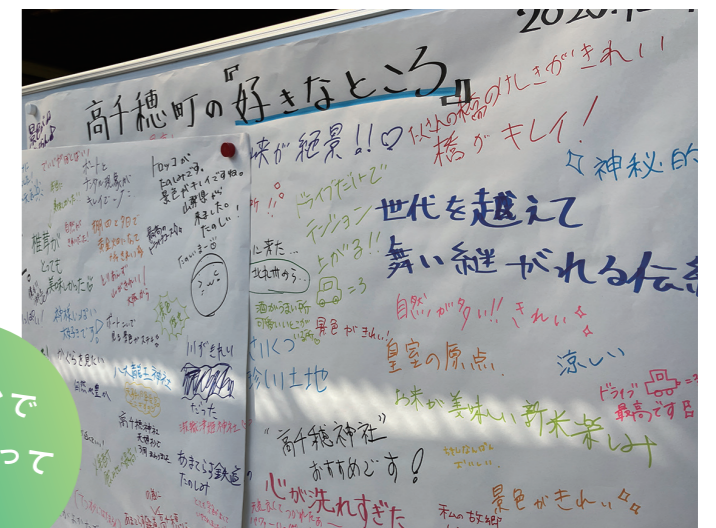
どんな
アイデアが
あるかな



観光客は
高千穂を
どうかんじた？



みんな
はなしあって
みよう！



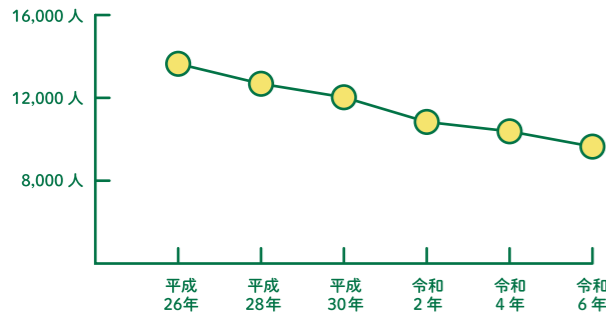
いろんな
意見を
まとめよう！



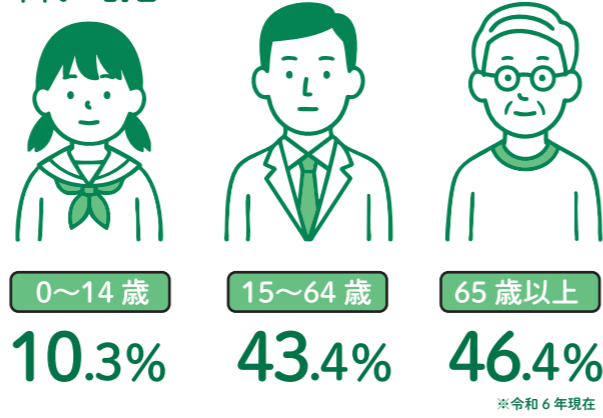
たかちほの今って？

まちの未来のことを考える「総合計画」は、えらい人がひとりで考えるものではありません。高千穂町では、町に住む人・はたらく人など、いろんな立場の人たちの声を聞きながら、みんなで一緒につくっていきます。

人口の推移

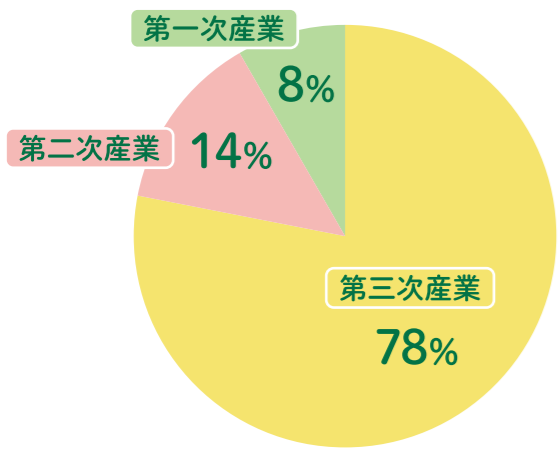


年代の割合

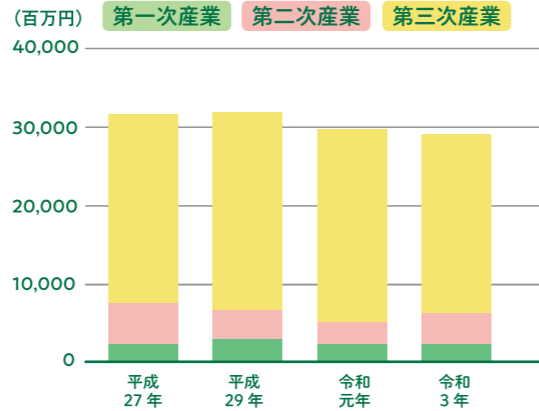


産業別生産額の割合

※令和3年度参照



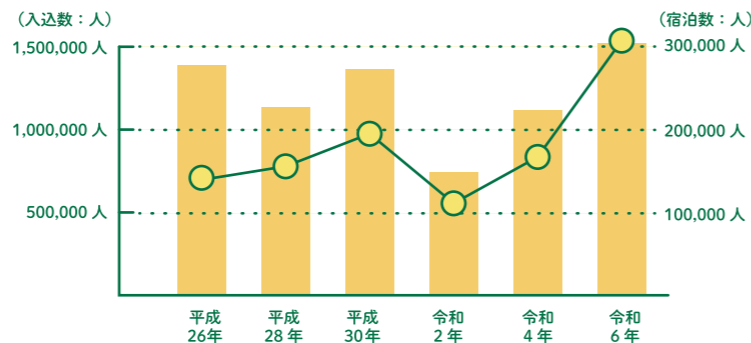
産業別生産額の推移



産業別

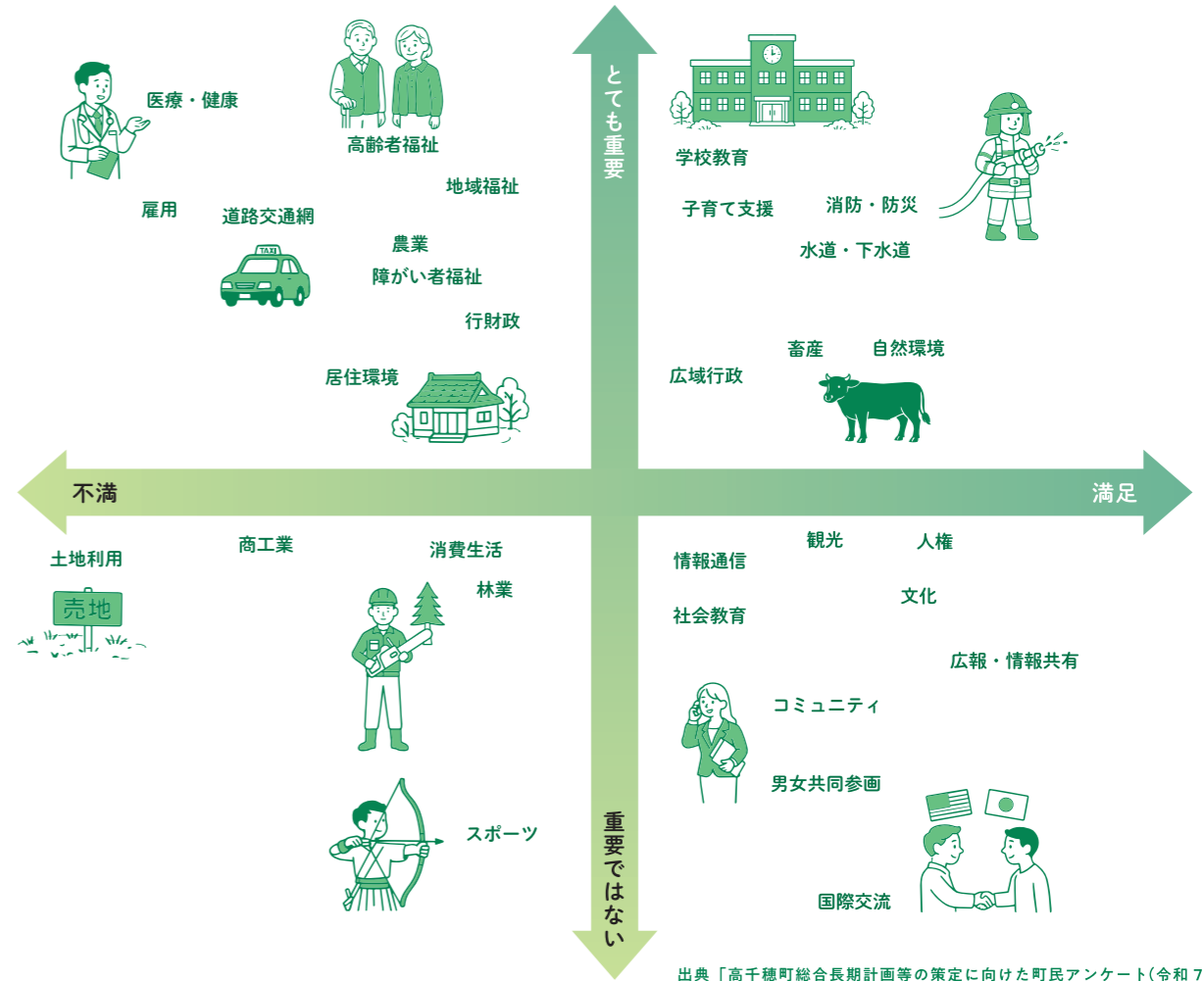


観光入込客数の推移



たかちほの人の声

まちの人たちが「どんなことを大切に思っていて」「どれくらい満足しているか」をあらわした図です。



自然が美しく、空気や水がおいしいので、ここで暮らせてよかったと思う。

人が穏やかで温かいところが高千穂の魅力だと思う。

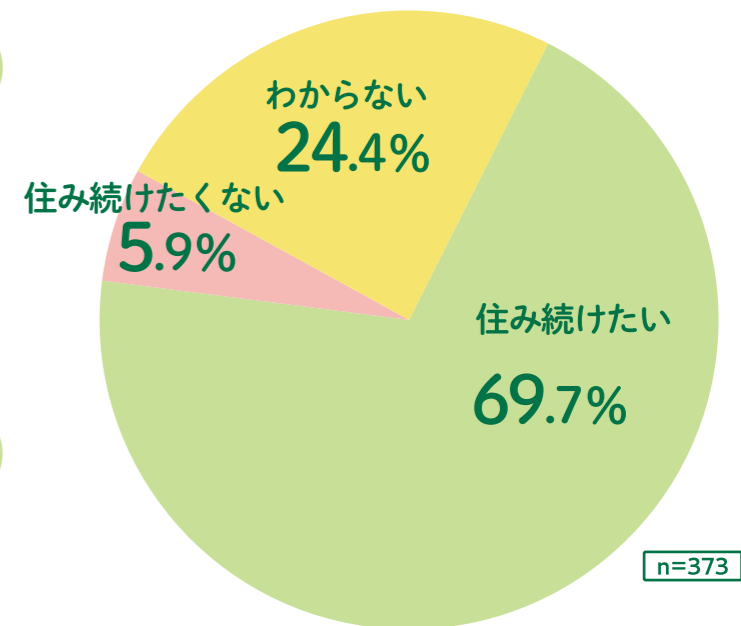
伝統や自然を大切に守りながら暮らせる町であってほしい。

観光だけでなく、町民の暮らしにも目を向けた行政を期待したい。

高齢者や子育て世代にも優しい町になってほしい。

若い人がもっと住み続けられるよう、働く場の確保を進めてほしい。

これからも高千穂に住みたい？



たかちほの人にインタビュー！

高千穂で子育てをしているお母さんたちに、暮らしのことを聞いてみました。最初は分からないことも多かったけど、高千穂の人のやさしさに包まれながら子育てができていくことなどを話してくれました。

たかちほでの
子育てはどう？



子育て世代
あだち
足立 愛美さん



子育て世代
やぐち
矢口 麻実さん

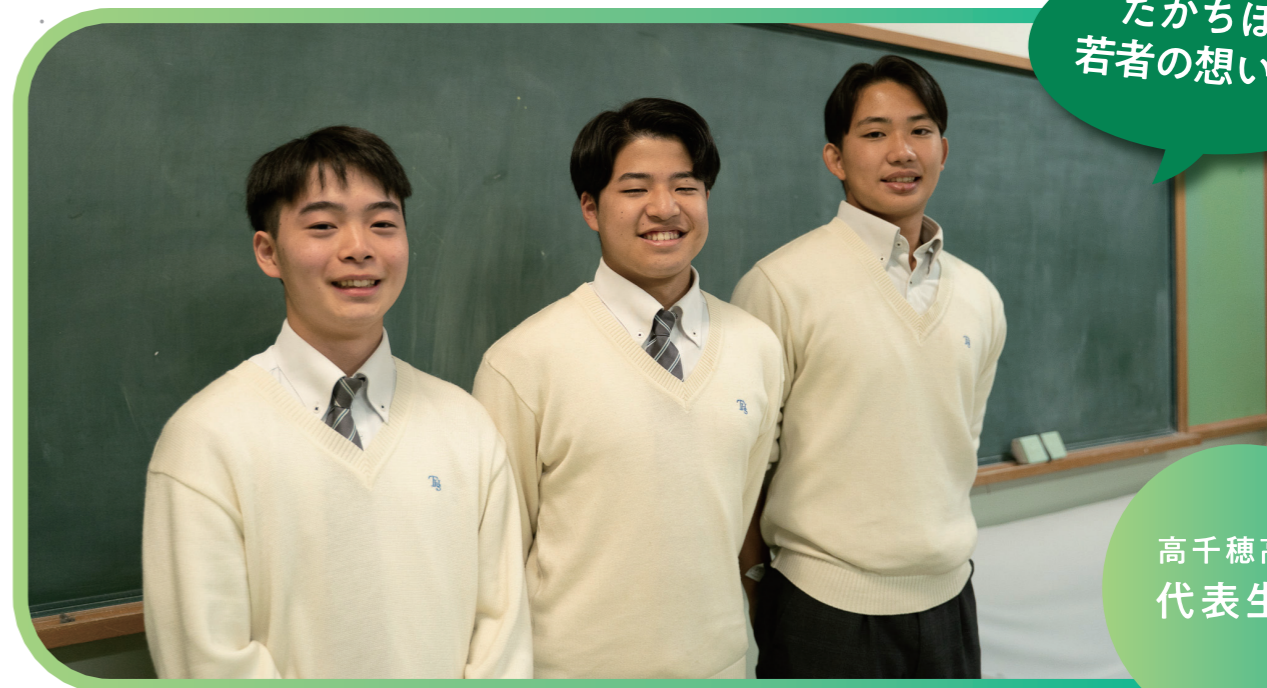
高千穂に来て数年ですが、子育てをしてみて感じるの、人のあたたかさです。ご近所さんが子どものことを気にかけてくれたり、声をかけてくれたりして、新しく来た家族でも自然と地域に入っていける安心感があります。延岡や熊本にも行きやすく、暮らしに慣れてくると便利さも感じるようになりました。

一方で、家探しは大変でした。賃貸が少なく、移住支援も永住向けのものが多くて、転勤で来た私たちには使いづらいところがあります。医療の選択肢も限られていて、延岡や宮崎市まで行く必要があるのは負担に感じます。熊本が近くても県外扱いで補助を受けられないのも気になることです。子どもの遊び場が少ないことも課題ですが、子育て支援センターのイベントはとても助かっています。親子で楽しめたり、ほかのお母さんと話せたり、「わたしだけじゃない」と思える場所になっています。

町でも医療や遊び場、住宅のことなど、子育てしやすい環境づくりに向けて検討が進んでいると聞きました。まだ課題はありますが、この町で子どもを育てられて良かったと感じる瞬間も多く、これからもっと暮らしやすくなるといいなと思っています。

高千穂で暮らす高校生みなさんにも話を聞き、地域の魅力や日頃感じていること、将来への思いなどを教えてもらいました。高校生の考える、自分たちと高千穂の未来とはどんなものなのでしょうか？

たかちほの
若者の想いは？



高千穂高校
代表生徒

私たちは3人とも高千穂で生まれ育ちました。部活をしたり、神楽に参加したり、家業を手伝ったりと、地域と関わるのが生活の一部になっています。高千穂の良さは、やっぱり自然が豊かで、人との距離が近いところです。困っていると声をかけてくれたり、神楽では師匠が丁寧に教えてくれたり、地域全体で見守られている安心感があります。歴史や文化が生活の中に自然とあることも、誇りに感じています。

その一方で、課題だと感じることもあります。観光地のゴミが増えていたり、ゴミ箱が足りないこと、買い物に時間がかかることなど、日常で困ることもあります。冬になると屋内で過ごせる場所が少ないなど、「若い人が気軽に集まれる場所」はもっとあってほしいです。

進路は一度町外に出る予定ですが、ゆくゆくは高千穂に戻りたい気持ちがあります。神楽を続けたい、家業を手伝いたい、農業や畜産に挑戦したいという夢もあります。学校の地域学習で観光ガイドをしたり、道路改善の提案をしたり、棚田キャンプを手伝ったことで、自分たちの力でも地域の役に立てる実感がありました。

高千穂がもっと暮らしやすく、いつか帰ってきたいと思える町になるよう、私たちも関わっていきたくと思っています。

たかちほの 「もんだい」と「もくひょう」

どんなにすてきな町でも、暮らしの中には「ちょっと困ってること」や「もっとこうなったらいいな」という声があります。

高千穂町では、町民のみなさんの声やデータをもとに、いまの課題を見つめながら、これからの5年・10年で取り組むべきことを考えました。

① 若い人が少なくなり、働く人もへっている

お年寄りがふえて、若い人や働く人が少なくなっています。仕事や農業をする人が足りなくて、町の元気がなくなってしまいました。町に住んでくれる人をふやしたり、いろいろな世代の人が元気に活動できる町にすることがたいせつです。

② 行政（役場）と地域の人がいっしょに町をつくること

役場だけでなく、町の人たちもいっしょになって話し合ったり、行動することがたいせつです。町の良いところ（自然や文化など）を活かして、ずっと住みやすい町をみんなで作っていきます。

③ だれもが安心してくらす町にする

台風や大雨などの自然災害で、くらしに不安を感じるものがふえてきています。安全にくらすように、防災や避難の準備をしっかりしたり、安心できる生活の場を守ることがたいせつです。

④ 高千穂のすばらしさを活かして、人との交流をふやす

高千穂の自然や伝統を生かして、観光に来る人をふやしたり、いろんな人とつながれる場所をつくるのが大切です。新しいアイデアや工夫で、町の未来を明るくしていきます。

基本構想

世界に誇る地域資源を活かし豊かでみんなが輝くまち 高千穂
～神々と自然と人とのつながりを次世代へ～

基本計画

第6次高千穂町総合長期計画 後期計画

基本目標

- (1) 地域の資源を活かした活力のあるまちづくり
- (2) 健やかに暮らせる支え合いのまちづくり
- (3) 豊かな人間性を育むまちづくり
- (4) 安全かつ快適な暮らしやすいまちづくり
- (5) 町民と行政の協働による持続可能なまちづくり

重点プロジェクト

第3期高千穂町まち・ひと・しごと創生総合戦略

基本目標

- (1) 魅力的かつ稼ぐことのできる“しごと”環境づくり
- (2) 「神都高千穂」の魅力発信による、多様な“ひと”とのつながりづくり
- (3) 結婚・出産・子育ての希望が叶う“まち”づくり
- (4) 「高千穂に住んでよかった」と感じる“地域”づくり

実施計画

高千穂にきたひとに
きいてみた!

高千穂町の「好きなところ」

トロッコたのしい!

神話がおもしろい

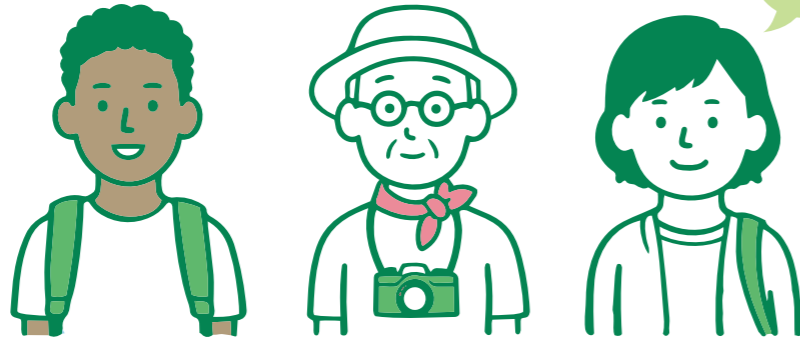
お酒がおいしいところ

高千穂峡が絶景!

新米が
美味しかった!

自然がきれい!

世代を超えて
舞い継がれる伝統



ドライブがたのしい!

心があらわれた

神秘的な土地柄

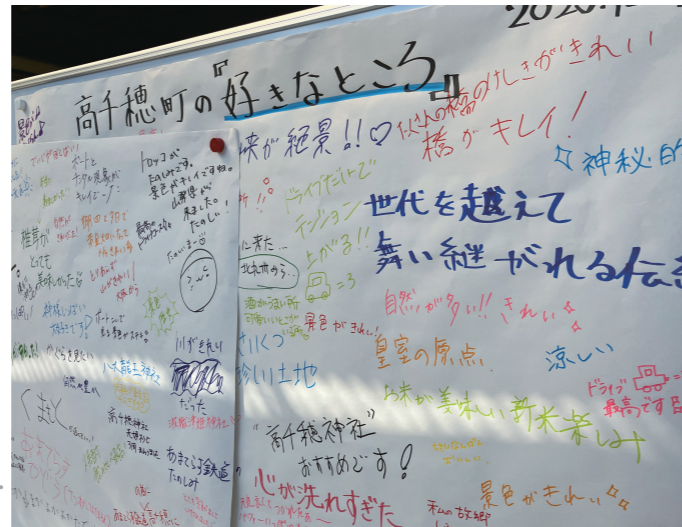
高千穂牛が絶品!

夜神楽に感動した

マイナスイオンが最高

2025年10月12日 観光客ヒアリングより

たくさんの方が
高千穂のいいところをみつてくださいました!



わたしたちができること

高千穂の未来をつくるのは、行政ではありません。
町で暮らすひとりひとりが「できること」から始めることで、
まちはもっとおもしろく、もっと豊かになります。

こんなことから
はじめてみよう!



アンケートに答える



ゴミ拾いや清掃活動への参加



地域の計画づくりや
ワークショップへの参加



活動団体への参加



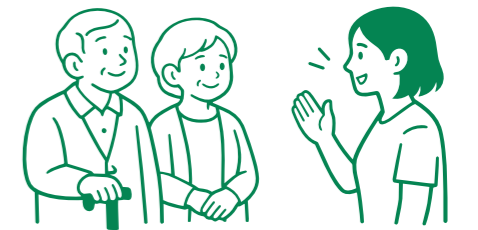
地域のSNSや
掲示板をチェックする



空き家の利活用



地域行事への参加



高齢者の見守り、声かけ

あなたの取組みが、たかちほの未来をつくれます!